

東京大学での所属学部/研究科(教育部)・学年(プログラム開始時): 経済学部経済学科3年

参加プログラム: 全学交換留学プログラム

派遣先大学: クイーンズランド大学(オーストラリア)

卒業・修了後の就職(希望)先: 3.公務員 5.民間企業(業界: 商社など)

#### 派遣先大学の概要

オーストラリア第三の都市ブリスベンにあるクイーンズランド大学。ブリスベンの中心からはバスまたはフェリーで30分程の所に位置し、広大で緑が美しいキャンパスが魅力。学生は4万人ほどで留学生などの国際的な学生も多い。

#### 留学した動機

日本で生まれ育ったため、高校生のころから世界に憧れていた。大学一年の時に参加した日中韓三カ国学生会議にて自分の英語力の無さ、及び視野の狭さに危機感を覚え留学を決意した。

#### 留学の時期など

- ① 留学前の本学での修学状況: 西暦[2014]年 学部[ 3 ]年の[ 1 ]学期まで履修
- ② 留学中の学籍: 留学
- ③ 留学期間: 2014年 7月 ~ 2015年 7月 学部[ 3 ]年時に出発
- ④ 留学後の授業履修: 西暦[ 2015 ]年 学部[ 4 ]年の[ 2 ]学期から履修開始
- ⑤ 就職活動の時期: 西暦[ 2016 ]年 学部[ 4 ]年の[ 8 ]月頃に行う予定
- ⑥ 本学での単位数: 留学前の取得単位[ 36 ]単位 留学先で取得し、本学で単位認定申請を行う単位[12~24 ]単位

留学後の取得(予定)単位[48~60 ]単位

- ⑦ 入学・卒業/修了(予定)時期: 西暦[ 2012 ]年 [ 4 ]月入学 西暦[ 2017 ]年 [ 3 ]月卒業/修了
- ⑧ 本学入学から卒業/修了までの期間: [ 5 ]年[ 0 ]ヶ月間
- ⑨ 留学時期を決めた理由:  
就職活動をする前に世界を見て視野を広げたいと思っていた。留学準備や今後のことを考え大学3年次の留学が最適だと思った。

#### 留学の準備

① 留学先大学への入学手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)  
TOEFLの勉強は二年の夏から始めたが、もう少し早く始めておけば良かったと思う。東京大学に提出する応募書類は時間をかけて書く必要がある(留学志望理由、取りたいコースなど)。留学先大学に提出する書類は取りたいコースについて(後々変更可能)。

② ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)

学生ビザ。留学決定後留学先大学から手続きについて指示があったが各自で調べる必要もある。時間に余裕をもって臨むとよい。

③ 医療関係の準備(出発前の健康診断、常備薬、予防接種等)

健康診断は必須。

④ 保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)

大学が指定する保険に入る必要があるが、カバーされる範囲、金額が不十分であったため、日本の保険にも加入した(年間10万円ほど)。現地で骨折、手術した(40万円)ため保険に入っていて本当に助かった。

⑤ 留学にあたって東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)

私の所属する経済学部ではゼミの単位分割申請など行った。

⑥ 語学関係の準備(出発前の英語レベル・語学学習等)

英語に関して、TOEFL iBT95点あったが現地でもとても苦労した。わからない単語が出てくると会話についていけなくなったため、単語の勉強をもっとやっておけば良かったと思う。英語でニュースを聞いたり記事を読んだりする他、英語で映画、ドラマを見ることをお勧めする。

⑦ 日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど

自分を代表するもの、趣味で必要なものを持っていくことをお勧めする。コミュニケーションツールや気晴らしになり現

地での生活を充実させる。また、留学に行く目標を出来るだけ細かく考えておくと現地でぶれずに行動できる。

## 学習・研究について

### ①履修した授業科目のリスト(授業を履修した場合)

※そのうち、帰国後東京大学で単位認定の申請を行ったものに●をつけてください。

Semester 2, 2014

MKTG 1501 Foundations of Marketing

●EVNT 2000 Fundamentals of Event Management

●POLs 2402 Globalization& International Political Economy

●POLs 2501 Human rights& International Politics

Semester 1, 2015

●ECON 3060 Experimental Economics

●POLs 3202 Foreign Policies of the Great Powers

●POLs 2201 Australian Foreign Policy

AUST 2000 Australian Popular Culture

### ②留学中の学習・研究の概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている授業等)

授業は基本的に一コース2時間のレクチャーと1時間のチュートリアルから成る。レクチャーの内容をもとにチュートリアルでディスカッションやプレゼンテーションが行われる。印象に残っているのは POLS2402, POLS3202 のコースで POLS2402 は予習の量が膨大だったが、レクチャーがとても面白かった。内容は政治学と経済の関係について扱い、アダムスミスやマルクス、ケインズの理論から現在の中国の政治経済体制の分析など多岐にわたった。

### ③1学期あたりの履修科目・単位数、週あたりの学習・研究時間(授業時間・授業以外の学習時間)など

1学期の平均履修科目は4つ。1科目につき週2時間のレクチャーと1時間のチュートリアルが行われる場合が多い(コースにより異なる)。チュートリアルではレクチャーの内容をもとにディスカッションやプレゼンテーションが行われる。授業は予習を前提として行われるため、1つの科目につき週に6時間程勉強した。

### ④学習・研究面でのアドバイス

予習復習、課題が多いため、計画的に勉強をすることが必要になる。週や月、出来ればセメスターで忙しくなる時を見極めコツコツ勉強するのが良い。また、授業で友達を作り一緒に勉強をすることでモチベーションの維持、効率の向上につながる。レポートの書き方については最初苦労するが数をこなすことで楽になる。

### ⑤語学面での苦労・アドバイス等

日本語で勉強するように効率良くいかず、いらいらしたり落ち込んだりすることもあるが、徐々に良くなってくる。自分なりに勉強の仕方考えることが大切だと思う。

## 生活について

### ①宿泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など)

学期中はキャンパス内にある寮(インターナショナルハウス)に住んでいた。寮には世界中からの学生が住んでおり、積極的に話しかけることで文化背景の全く異なる友達が数多くできた。寮はきれいで一人部屋。家賃は食費など全て込みで月約20万円ととても高かった。夏休みには現地でシェアハウスをして過ごしていたが、半額で生活できた。

### ②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)

夏はとても暑く冬でもそこまで寒くない(最低7°Cくらい)。大学には食堂、バー、病院、銀行など必要なものはある程度備わっている。交通機関は基本バスで、市内や長距離移動には電車も利用する。物価は日本より高い(1, 5倍ほど)。お金はクレジットカードの利用が中心。

### ③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など)

治安はとても良い。医療は高いが、大学指定の保険により一定額カバーされる。

### ④留学に要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)

#### ・毎月の生活費とその内訳

寮費は月20万円。教科書はとても高いがオンラインで安く手に入る(または友達にコピーさせてもらう)。家賃はシェアハウスで月約8万円(場所などにより左右する)。

#### ・留学に要した費用総額とその内訳

留学に要したのは寮費200万円(一年)、交通費娯楽費10万円程度。

### ⑤奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など)

東京大学海外派遣奨学事業から月7万円、計84万円。大学のホームページより。

### ⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など)

スポーツは盛んで私は寮対抗試合に参加した(サッカー、バスケ、テニス、クリケットなど)。ボランティアはアボリジニーの高校生に大学を紹介するキャンプに参加した。

## 派遣先大学の環境について

### ①留学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)

サポートはしっかりしており分からないことは基本教務課に聞いた。語学面では英語のセミナーなどが開かれていた。

### ②大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC環境等)

24時間開いている図書館が複数ある。ジムやプール、食堂など施設はとても充実していた。

## 留学と就職活動について

### ①(就職活動を既に行った場合)留学が就職活動に与えた影響、メリット・デメリットなど

### ②(今後就職活動を行う場合)留学が就職に対する考え方に与えた影響

人生に対する考え方が変わり、やりたいことが見えてくるようになった。具体的には、日本に留まらず海外でも働きながら日本、世界を良くする職業、かつ人とのコミュニケーション、信頼を重視する仕事に就きたい。留学を通して気持ちに余裕が生まれ、就職を前向きに考えられるようになった。

### ③留学中の就職活動への対策など(もしあれば)

留学中は自分、また将来について様々な人と話すことを通して考えた。

### ④就職が決まっている場合は、差し支えない範囲で就職先をお知らせください

- 1.研究職
- 2.専門職(法曹・医師・会計士等)(職名: )
- 3.公的機関(機関名: )
- 4.非営利団体(団体名又は分野: )
- 5.民間企業(企業名又は業界: )
- 6.起業(分野: )
- 7.その他( )

## 留学を振り返って

### ①留学の意義、留学を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感

留学の一番の魅力は新たな人との出会いだと思う。一年間自分とは全く異なるバックグラウンドを持つ人々と共に過ごし話つくすことで新しいことを発見し続けた。文化的なことはもちろん、人生観や世界観など今まで自分が当然だと思っていたことが現地ではそうではないことに衝撃を受けた。この一年で一生の友達も複数出来、将来の再開を誓い合ったことも留学に行き行って良かったことの一つである。

また、学問でも、本気で取り組むことで非常に多くのことを学ぶことが出来た。留学中勉強面で苦労することが多かったがそのおかげで自分なりの学習方法を確立できた。

### ②留学後の予定

就職に向けて準備するとともに、残り1年半の学生生活を悔いなく過ごそうと考えている。一年間会えなかった日本の友達とも会いたい。

### ③今後留学を考えている学生へのメッセージ・アドバイス

留学は間違いなく人生の転機となりうる。一番大事なのはその一步を踏み出すことだが、同じくらい大切なのが留学を有意義なものにするための努力を怠らないこと。何のために留学に行くのか、何を達成したいのかははっきりさせ、常に意識すると良い。新しい環境で勉強することは大変だがとても楽しい。応援しています。

## その他

### ①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物

留学している学生が書いているブログなどはモチベーション維持に役立った。

### ②その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。

東京大学での所属学部/研究科(教育部)・学年(プログラム開始時):

参加プログラム: 全学交換留学

派遣先大学: クイーンズランド大学

卒業・修了後の就職(希望)先: 1.研究職 2.専門職(医師・法曹・会計士等) 3.公務員 4.非営利団体

○5.民間企業(業界:金融 ) 6.起業 7.その他( )

### 派遣先大学の概要

クイーンズランド大学。オーストラリアの国立大学のひとつで、ブリスベンにある名門校。

### 留学した動機

異なる価値観を持つ人たちと出会い、一緒に物事に取り組むのに必要なコミュニケーション能力を培うため。

### 留学の時期など

①留学前の本学での修学状況: 西暦[2015]年 文学部 [4]年の[冬]学期まで履修

②留学中の学籍: 休学/留学○

③留学期間: 2015年 2月 ~ 2015年 6月 文学部[4]年時に出発

④留学後の授業履修: 西暦[2015]年 文学部 [5(留年)]年の[冬]学期から履修開始

⑤就職活動の時期: 西暦[2015]年 文学部 [5(留年)]年の[6-8]月頃に 行った

⑥本学での単位数: 留学前の取得単位[80]単位 留学先で取得し、本学で単位認定申請を行う単位[4]単位  
留学後の取得(予定)単位[4]単位

⑦入学・卒業/修了(予定)時期: 西暦[2011]年 [4]月入学 西暦[2016]年 [3]月卒業予定

⑧本学入学から卒業 までの期間: [5]年

⑨留学時期を決めた理由:

部活動に四年間集中したかったため、引退する四年生の12月から就職活動の面接が始まる翌年8月までを留学時期とし、1年間の留年を決めました。

### 留学の準備

#### ①留学先大学への入学手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)

特に難しいことはなかった。大学院係、国際交流課の担当者の方々からの指示に従って速やかに行えば問題ないと思います。

#### ②ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)

大使館のホームページから、学生ビザを申請しました。所定の病院で健康診断なども求められるため、早めに申請する方がよいと思われます。

#### ③医療関係の準備(出発前の健康診断、常備薬、予防接種等)

ビザ申請のために求められた健康診断以外特になし。

#### ④保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)

AIGの半年で六万円程度の保険に入った。しかしクイーンズランドの留学生は(オーストラリアへの留学生全員かも)強制的に健康保険に入るため、医療費などはそこからおりるため、必ずしも必要だったのかは分かりません。シェアハウスか、寮か、ホームステイかによってプランを選んでなるべく安く押さえるのかいいと思います。

#### ⑤留学にあたって東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)

書類選考、面接、申請手続きなどを除けば、特になし。

#### ⑥語学関係の準備(出発前の英語レベル・語学学習等)

私は追加募集で応募したので、留学を決めた3年生の冬(出発の1年2ヶ月前)からIELTSの勉強を始めたためかなり準備開始が遅かったです。英語自体は3年生のはじめ頃からALL in ONEという教材で英文暗記をしたり、日常的に英語のNewsなどを移動中に聞いたりしていました。そして3年生の冬に留学を決めてからは、オンライン英会話でスピーキングを毎日練習しました。オンライン英会話はその後も出発までずっと続けたため、かなりスピーキング力があがったと確信しています。また留学の直前、4年生の1月から6週間フィリピンへ語学留学したこともかなり役に立ったと思います。

## ⑦日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど

いざ留学がスタートすると、授業の勉強に追われ、「英語」を純粋に勉強することは難しいです。そのため、現地で英語力は確かに少しは伸びますが、留学開始までに勉強しておくことが留学生活の充実度に関わると強く思います。私見ですが、留学が始まった直後、英語力が行動力に繋がりに、行動の幅が確実に広がったと思いました。現地の友達と臆せず話すこと、深い話ができることで絆が深まったからです。よって出発前、日本でできる英語の勉強(特にスピーキング)をいろいろ試してみて、少しでもレベルをあげてから出発することを強くお勧めします。

## 学習・研究について

### ①履修した授業科目のリスト(授業を履修した場合)

※そのうち、帰国後東京大学で単位認定の申請を行ったものに●をつけてください。

Intercultural Communication, Introduction to Education

### ②留学中の学習・研究の概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている授業等)

communication の授業は、特に学生間で discussion することが求められた。Presentation もあり、オーストラリア人の学生と内容について話し合い、本番に向けて練習し、内容の濃い話を本気で討論するなかで、自分の英語が一つレベルアップしたように感じました。

Education の授業はオーストラリアの教育格差について興味深い内容が勉強できました。

### ③1学期あたりの履修科目・単位数、週あたりの学習・研究時間(授業時間・授業以外の学習時間)など

科目は3つ。(一つ辞退) 一つの科目につき、一週間に2時間の lecture と1時間の tutorial がある。

1科目あたり予習のリーディングが30ページほどで一週間に二時間から三時間。

その他、presentation などの準備で週に3時間程度。

### ④学習・研究面でのアドバイス

リーディングはマストではないが、読んだ方が tutorial の discussion が有意義になると思いました。せっかくだからと、読んだ後ノートにまとめるなどの作業をして tutorial に備えていました。

### ⑤語学面での苦勞・アドバイス等

オーストラリアだったからか、リスニングには最後まで苦勞した。特に男性の英語が聞き取れずつらかった。オーストラリアのドラマを毎日聞きました。ほかに、コミュニケーションのテクニックとしては、要所だけ押さえて、あとは確認しながら会話すれば、そこまで困ることもなかったです。

## 生活について

### ①宿泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など)

ホームステイ。東大からの留学生が紹介してくれて、その子と一部屋をシェアして生活しました。食事付きで\$220/week、ホストシスターとブラザーは同じ大学の学生。本当の家族のように接してくれるすばらしい家庭でした。厳しいルールなどもなく部屋は広くとてもいい居住環境でした。週に一回はルームメイトと部屋を掃除しました。

### ②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)

食事はホストマザーが用意してくれました。大学まではバスで10分程度。シティまでもバスで20分程度でいけました。お金は新生銀行の口座を作り、母が日本から振込のかたちで入金してくれ、私がキャッシュカードを使って引き出していました。

### ③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など)

特になし。治安を心配していったが、危ない目に合うことはなかった。夜の町を頻繁に利用する場合は注意した方がいいかもしれません。

### ④留学に要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)

#### ・毎月の生活費とその内訳

航空券は片道3万円程度。教科書は一冊1万円ほどするものばかりなので、生徒間で売り買いする習慣がありました。家賃は食費込みで週\$220 とかなり安かったです。交通費は定期券があるので、月\$40 ぐらいだったと思います。物価は本当に高く、大学のフードコートでは、subway が\$8 など。外食すると\$15 程度はかかります。

#### ・留学に要した費用総額とその内訳

家賃 35万円、航空券7万円、交際費 7万円、教科書代 1万円、交通費 1.5万円、シドニー旅行など 5万円  
合計約50~60万円

### ⑤奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など)

大学から支給していただいた。月額7万円

### ⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など)

Japanese club wasabi で、日本語を現地の学生に教える活動をしました。

大学の日本語の教授のアシスタントとして日本語のクラスに参加し生徒の学習を手伝いました。

週末は半分勉強し、半分はジムや友人と遊ぶなどのソーシャル活動に使いました。

週に一度、町で出会った日本人の駐在のご家庭に、家庭教師をすることになり、算数を教えていました。

中休みは旅行しました。

## 派遣先大学の環境について

### ①留学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)

留学生が非常に多いため、away な気持ちになることはあまりなかったです。学生センターに行けば、丁寧に教えてくれました。学習面ではオーストラリア人や欧米からの留学生はよく意見をいうので、負けないようにと自分の意見を持つ習慣を予習の段階で徹底しました。なるべく日本人よりオーストラリア人や他の国からの留学生と絡もうとしてきたため、幅広い友人ができたことが心の支えだったと思います。

### ②大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC 環境等)

図書館は多数あり、自習スペース、パソコンもたくさんあります。大学で多くの学生が勉強しているのが印象的でした。校内にジム、フードコートがありよく利用しました。学内に wifi が飛んでいるのでそれを使用しました。ときどき通じない場所がありましたが、生活はできました。私は4ヶ月、wifi だけで生活できました。

### 留学と就職活動について

#### ①(就職活動を既に行った場合)留学が就職活動に与えた影響、メリット・デメリットなど

2016年卒採用は8月面接スタートになったので、就職活動にマイナスの影響は特になかったと思います。私は金融業界中心に見ていたため、6月半ばに帰国してからほとんどの会社の説明会に参加できました。一見正反対の部活と留学、そこから得た経験の延長線上として将来を考えた結果、志望業界を選んだことで、一貫性のある就職活動、自己アピールができたと思いました。

もしメーカー企業を志望している場合は説明会に参加できないまま、選考に入らなくてはならず、さらにその企業への強い思いが求められるメーカー企業の選考には不利に働く可能性が高いと思います。

#### ②(今後就職活動を行う場合)留学が就職に対する考え方に与えた影響

留学の経験や、英語能力は関係ないように感じます。私は部活で培ってきた、人を育てるという自分の強み、人の役に立つのが好きだという気質を、留学という環境でも活かすことができ、特に留学中に従事した部活動において、多くの学生の日本語の勉強のサポートができ、役に立つ活動ができました。それらを通して自分に自信がついたこと、それを今後の人生の軸にしていこうという考えに至りました。

#### ③留学中の就職活動への対策など(もしあれば)

目的を持って何かの活動に打ち込むことをお勧めします。就職活動では、留学を通して何を体験し、何を得たのかと聞かれました。このときほかの学生ではできなかったであろう、あなたならではの経験や成長を伝えられるといいと思いました。そのためには、留学前や留学中、自分の得意なこと、好きなことは何かを考え、自分についての理解を深めることが必要だと思います。

#### ④就職が決まっている場合は、差し支えない範囲で就職先をお知らせください

- 1.研究職 2.専門職(法曹・医師・会計士等)(職名: ) 3.公的機関(機関名: )  
4.非営利団体(団体名又は分野: ) ○5.民間企業(企業名又は業界:三菱東京 UFJ 銀行)  
6.起業(分野: ) 7.その他( )

### 留学を振り返って

#### ①留学の意義、留学を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感

得たものは、コミュニケーション能力の向上と、自分の本質の確信だと思います。バックグラウンドの違う人たちと意見を交換して、彼らに動いてもらえるよう働きかける、というような経験だけは日本ではできなかったからです。部活動でも、授業のグループワークでも、留学生だからと受け身にならず、自分の意見を主張し、相手にどう伝えれば動いてもらえるのか、という視点から、英語力の研鑽を続けたことで、日本では経験できないような、コミュニケーションの練習ができました。語学力を超えたコミュニケーション能力を培う非常に貴重な機会となったと思っています。

また自分が好きなこと、得意なことを留学中にも活かせることで、自信につながり、就職活動でも確信を持って自分の話をすることができました。

#### ②留学後の予定

就職活動を終えたため、今後は半年間のインターンをしようと思います。傍らでお金を貯めて、オーストラリアで出会った留学生の国を訪問するなどの旅行をしたいです。

#### ③今後留学を考えている学生へのメッセージ・アドバイス

留学は1年かそれ以上の準備期間が必要なため、事前に計画することが求められますが、行きたいと思ったら、まずはやってみることでと思います。その思い切りがおそらく一番大事なのではと思いました。決めたら、留学した先輩にたくさん話を聞き、加えて英語の勉強をしてその時期に備えておくことをお勧めします。

応募条件の英語力は最低条件で、現地ではより高度な英語運用能力が必要になるはずなので、英語で考え話す習慣を持っているといいかと思っています。

また、留学でどんな経験を得られるかは、その人次第ということはあると思います。せっかくの機会なので、日本人と固まることなく、少しきついぐらいの目標を立てて、挑戦し続ければ、自然と自分の本質に気づけることと思います。

留学がスタートした最初は何をすればいいのかわからないはずなので、とにかく外に出て、人と話し、アクティビティに

積極的に関わる中で、自分に合った目標が見つかると思います。

**その他**

①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物  
特になし。

②その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。

東京大学での所属学部/研究科(教育部)・学年(プログラム開始時):

参加プログラム: 交換留学

派遣先大学: キーンズランド大学

卒業・修了後の就職(希望)先: 1.研究職 2.専門職(医師・法曹・会計士等) 3.公務員 4.非営利団体

⑤.民間企業(業界: 出版社) 6.起業 7.その他( )

### 派遣先大学の概要

キーンズランド大学はオーストラリアのキーンズランド州ブリスベンにある州立大学です。世界大学ランキングでは常に100位以内に入っている名門大学です。緑美しいメインキャンパスを持っており、沢山の留学生がいました。

### 留学した動機

主な理由は二つあります。一つは英語圏に行くことで自分の英語力を伸ばすことでした。そして、二つ目が海外で勉強することにより、自分の視野を広げることでした。

### 留学の時期など

- ① 留学前の本学での修学状況: 西暦[2014]年 学部/修士/博士[3]年の[夏]学期まで履修
- ② 留学中の学籍: 休学/留学
- ③ 留学期間: 2014年7月～2015年6月 学部/修士/博士[3]年時に出発
- ④ 留学後の授業履修: 西暦[2015]年 学部/修士/博士[3]年の[冬]学期から履修開始
- ⑤ 就職活動の時期: 西暦[2016]年 学部/修士/博士[4]年の[4]月頃に(行った/行う予定)
- ⑥ 本学での単位数: 留学前の取得単位[34]単位 留学先で取得し、本学で単位認定申請を行う単位[0]単位  
留学後の取得(予定)単位[34]単位
- ⑦ 入学・卒業/修了(予定)時期: 西暦[2012]年 [4]月入学 西暦[2017]年 [3]月卒業/修了
- ⑧ 本学入学から卒業/修了までの期間: [5]年[0]ヶ月間
- ⑨ 留学時期を決めた理由: 早めに交換留学に行きたく、この期間が一番早く交換留学ができる時期だったから。

### 留学の準備

- ① 留学先大学への入学手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)  
留学先大学から送られてきたメールをもとに手続きを進めました。このときに向こうで取る授業なども選びますが、あとから変えることもできます。
- ② ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)  
学生ビザを申請しました。出発前に決められた一定の健康診断が必要となるので、病院に行く必要があります。
- ③ 医療関係の準備(出発前の健康診断、常備薬、予防接種等)  
ビザのために健康診断を行ったぐらいでした。
- ④ 保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)  
AIUに加入しました。
- ⑤ 留学にあたって東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)  
期末テストの前に出発しなければいけなかったため、教授と相談して、レポート課題にしてもらったりしました。
- ⑥ 語学関係の準備(出発前の英語レベル・語学学習等)  
出発前に後期英語の授業を取りました。
- ⑦ 日本から持参の方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど  
英語の勉強はしたほうがいいと思います。

### 学習・研究について

- ① 履修した授業科目のリスト(授業を履修した場合)

※そのうち、帰国後東京大学で単位認定の申請を行ったものに●をつけてください。

Contemporary Australia, Japan and the World, Introduction to International Relations, Writing for International



Students, Crossing Bridges, Art of Communication, Introduction German Language 1, European Political Issues

**②留学中の学習・研究の概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている授業等)**

一つの授業は大体、Lecture と Tutor から成り立っていて、Lecture で講義を聞き、Tutor で discussion などを行います。

**③1学期あたりの履修科目・単位数、週あたりの学習・研究時間(授業時間・授業以外の学習時間)など**

一学期あたり 4 科目をとりました。

授業の合計時間: 約 12 時間 授業以外の学習時間: 約 12 時間

**④学習・研究面でのアドバイス**

出た課題はしっかりとやったほうがいいと思います。

**⑤語学面での苦勞・アドバイス等**

Tutorial の discussion についていくのが大変でした。

**生活について**

**①宿泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など)**

最初は自分でホームステイを探しましたが、自分に合わず、後に向こうの大学で知り合った教授にいい宿泊先を紹介してもらい、そこに滞在していました。

**②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)**

冬でもさほど寒くなかったです。クレジットカードを主に使用していました。

**③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など)**

ブリスベンの治安はよかったです。ただ、夜に一人で出歩くのは避けたほうがいいと思います。

**④留学に要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)**

**・毎月の生活費とその内訳**

家賃&食費 約 11 万 娯楽 約 2 万

**・留学に要した費用総額とその内訳**

航空券代に往復約 20 万、ビザ申請に5~6 万円ぐらいかかりました。

**⑤奨学金(支給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など)**

東京大学の短期留学の奨学金月7万円

**⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など)**

日本人と日本語を勉強している生徒が入っているサークルに加入しました。

**派遣先大学の環境について**

**① 留学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)**

留学生をサポートセンターなどがありました。

**② 大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC 環境等)**

図書館がいくつかありました。また、ジムもお金を払えば使用可能です。大学内にカフェテリア、パソコンルームなどもありました。

**留学と就職活動について**

**①(就職活動を既に行った場合)留学が就職活動に与えた影響、メリット・デメリットなど**

**③ (今後就職活動を行う場合)留学が就職に対する考え方に与えた影響**

留学したことにより、海外での就職も視野に入りました。

**③留学中の就職活動への対策など(もしあれば)**

**④就職が決まっている場合は、差し支えない範囲で就職先をお知らせください**

1.研究職 2.専門職(法曹・医師・会計士等)(職名: ) 3.公的機関(機関名: )

4.非営利団体(団体名又は分野: ) 5.民間企業(企業名又は業界: )

6.起業(分野: ) 7.その他( )

## 留学を振り返って

### ① 留学の意義、留学を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感

一年間、海外生活をしていたことにより、視野が広がりました。また、意見を言うことの大切さを学びました。

### ② 留学後の予定

卒業後は就活を考えています。

### ③ 今後留学を考えている学生へのメッセージ・アドバイス

辛いときもありますが、その分楽しいこともあります。迷っているのなら、挑戦するべきだと思います。

## その他

### ① 準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物

クィーンズランド大学の公式ホームページ

<http://www.uq.edu.au/>

### ② その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。

東京大学での所属学部/研究科・学年(プログラム開始時): 工学部電子情報工学科 3年

参加プログラム: 全学交換留学 派遣先大学: クイーンズランド大学

卒業・修了後の就職(希望)先: 1.研究職 2.専門職(医師・法曹・会計士等) 3.公務員 4.非営利団体

5.民間企業(業界: ) 6.起業 7.その他( )

1. 研究職 または 6. 起業

#### 派遣先大学の概要

クイーンズランド大学は、オーストラリアの中でもトップレベルであり、世界大学ランキングでも常に 100 位以内にはランクインしている。

#### 留学した動機

語学の上達はもちろん、海外の大学生活がどのようなものか体験したかったから。

#### 留学の時期など

①留学前の本学での修学状況: 西暦[ 2014 ]年 学部 [ 3 ]年の[ 夏 ]学期まで履修

②留学中の学籍: 留学

③留学期間: 2015 年 2 月 ~ 2015 年 6 月 学部[ 3 ]年時に出発

④留学後の授業履修: 西暦[ 2015 ]年 学部 [ 3 ]年の[ 冬 ]学期から履修開始

⑤就職活動の時期: 西暦[ ]年 学部/修士/博士[ ]年の[ ]月頃に(行った/行う予定)院に進学するので行わない予定

⑥本学での単位数: 留学前の取得単位[ 49 ]単位 留学先で取得し、本学で単位認定申請を行う単位[ 0 ]単位 留学後の取得(予定)単位[ ]単位

⑦入学・卒業/修了(予定)時期: 西暦[ 2012 ]年 [ 4 ]月入学 西暦[ 2017 ]年 [ 3 ]月卒業/修了

⑧本学入学から卒業/修了までの期間: [ 5 ]年[ 0 ]ヶ月間

⑨留学時期を決めた理由:

3 年次からでしか全学交換留学はできず、4 年次からだとなら研究などに支障が出るので。

#### 留学の準備

①留学先大学への入学手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)

早めに行いましょう。

②ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)

学生ビザ。時間がかかるので、早めに行いましょう。

③医療関係の準備(出発前の健康診断、常備薬、予防接種等)

なし。

④保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)

AIU

⑤留学にあたって東京大学の所属学部・研究科で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)

留学願

⑥語学関係の準備(出発前の英語レベル・語学学習等)

リスニングを重視して練習

⑦日本から持参の方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど

100 円などで買える、日本らしいお土産

#### 学習・研究について

①履修した授業科目のリスト(授業を履修した場合)

※そのうち、帰国後東京大学で単位認定の申請を行ったものに●をつけてください。

Micro Economics

Basic of Marketing

**②留学中の学習・研究の概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている授業等)**

Tutorial などの Lecture 以外の授業が多かった

**③1学期あたりの履修科目・単位数、週あたりの学習・研究時間(授業時間・授業以外の学習時間)など**

授業時間 20 時間・学習時間 5 時間/週

**④学習・研究面でのアドバイス**

テストは難しくないが、ほぼ毎週のようにある課題が面倒なので、テスト前に詰込む型の勉強よりは、こつこつやらなければならない。

**⑤語学面での苦勞・アドバイス等**

リスニングができないと、授業に行っても意味が無いので、リスニング力をつけておくこと。

**生活について**

**①宿泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など)**

寮: 20 万/月 (食事・インターネット代などすべて含む)

**②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)**

バスが通っており、City には出やすい。

**③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など)**

特になし。

**④留学に要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)**

**・毎月の生活費とその内訳**

21 万/月 (寮費 20 万 + 雑費 1 万)

**・留学に要した費用総額とその内訳**

100 万 (寮費 80 万 + 航空費 10 万 + 雑費 10 万)

**⑤奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など)**

Fung Scholarship (東大の支給プログラム) 月 7 万

**⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など)**

夏休みはプログラマー・チューターとしてバイトをしていた。週末は友達と遊びに出たり、観光をした。

**派遣先大学の環境について**

**①留学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)**

特に必要としなかったので不明。

**②大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC 環境等)**

図書館が 24/7 だったのでとても助かった。食堂はフードコートしかなく、あまりおいしくない。

**留学と就職活動について**

**①(就職活動を既に行った場合)留学が就職活動に与えた影響、メリット・デメリットなど**

**②(今後就職活動を行う場合)留学が就職に対する考え方に与えた影響**

海外で就職したい。

**③留学中の就職活動への対策など(もしあれば)**

**④就職が決まっている場合は、差し支えない範囲で就職先をお知らせください**

1.研究職 2.専門職(法曹・医師・会計士等)(職名: ) 3.公的機関(機関名: )

4.非営利団体(団体名又は分野: ) 5.民間企業(企業名又は業界: )

6.起業(分野: ) 7.その他( )

**留学を振り返って**

**①留学の意義、留学を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感**

留学をすることで、語学力はもちろん、多様な価値観を身につけることができ、日本にかえってきても世界的な視点で物事をみることができる。

**②留学後の予定**

大学卒業後は、海外の大学院に進学し、できればそのまま海外で就職をしたい。

**③今後留学を考えている学生へのメッセージ・アドバイス**

今しかできないことであり、留学して後悔したという人は聞いたことが無いので、後悔しないようにチャレンジしてください。

**その他**

**①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物**

留学先の大学のホームページ

**②その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。**